

弘前大学大学院保健学研究科／京都大学医学部附属病院 2022 年度 放射線看護ベーシックトレーニング 開催要項

◇開催趣旨

放射線を用いる検査及び治療はますます高度化・専門分化し、放射線診療の適応範囲は年々拡大しています。看護師は放射線診療を受ける患者の看護に携わっており、近年は医療の現場だけではなく、原子力・放射線災害の際にも被災者にとって最も身近な医療の専門職として、最適な対応をすることが期待されています。しかしながら、看護基礎教育では「放射線看護」に関する教育は十分とは言えず、看護基礎教育や卒業後の継続教育でも学習の機会は多くはありません。

弘前大学大学院保健学研究科では、平成 29 年度から放射線看護教育支援センターを設置し、看護教員・看護職を対象とした研修会等を行っています。

本研修会は、平成 28 年度に文部科学省の「機関横断的な人材育成事業」に 3 年計画で採択された公益社団法人日本アイソトープ協会の「看護職の原子力・放射線教育トレーナーズトレーニング」の後継企画であり、本学主催での開催は今年で 4 年目となります。放射線看護関連科目を担当できる教員の育成や放射線及びその健康影響・リスクについての知識を身につけた看護職の育成が目的となっております。

◇開催日時： 令和 4 年 11 月 5 日（土） 13 時 00 分～17 時 20 分（質疑応答を含む）

※事前学習として e ラーニングによる学習プログラムを実施していただきます。

詳しくは別紙のプログラムをご覧ください。

◇開催形式： Web 開催（Zoom 使用）

◇プログラム： 別紙参照

◇対象者： 看護職の方、看護教育に関わる教育機関の先生方（先着 100 名）

◇参加費： 無料 ※別途テキストの購入が必要です。

『改訂版 看護と放射線』（日本アイソトープ協会刊行／定価 2,500 円＋税）

◇準備物： テキスト、電卓

◇申込み方法： 次の専用フォームからお申し込みください。

（事前申込み制） <放射線看護ベーシックトレーニング申込フォーム>

<https://forms.office.com/r/CRaxmuZXXi>



◇申込期間： 令和 4 年 8 月 1 日（月）～令和 4 年 9 月 20 日（火）

※申込先着順で定員に達し次第、受付終了となります。

◇共 催： 弘前大学大学院保健学研究科 放射線看護教育支援センター
京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター
京都大学医学部附属病院 放射線部

◇お問合せ先： 弘前大学保健学研究科 総務グループ（担当：柏村）

hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

電話：0172-39-5518 FAX：0172-39-5912

【参考 URL】被ばく医療人材育成推進プロジェクト HP

<https://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/>

◆本セミナーは INE 更新単位取得（5 単位）の認定対象セミナーです ◆

2022 年度 放射線看護ベーシックトレーニング プ ロ グ ラ ム

◇令和 4 年 11 月 5 日（土）【研修当日（オンライン）】（測定実習）

時 間	内 容
13:00～13:10	開講式
13:10～14:10	●測定実習①自然放射線の理解（テキストの演習 1,2,3） 放射線測定器を用いた放射線の計測と霧箱による放射線の観察
14:10～14:20	休憩
14:20～15:20	●測定実習②外部被ばくに対する防護方策（テキストの演習 4） 放射線防護の基本となる事項（時間、遮蔽、距離） ※電卓使用
15:20～15:30	休憩
15:30～16:30	測定実習③移動型エックス線撮影装置の利用時の防護方策(テキストの演習 5) 撮影現場における線量の把握
16:30～17:00	Q & A
17:00～17:10	大学院の紹介
17:10～17:20	閉講式・アンケートの依頼

◇事前学習【e ラーニング】（講義）

事 前 学 習	内 容
講 義 1	「放射線利用における看護職の役割」
講 義 2	「放射線の基礎」
講 義 3	「放射線による健康影響とリスク」

【e ラーニングについて】

- 事前学習として、インターネットを利用した e ラーニングによる学習プログラムを実施します。
e ラーニングの開講は 10 月上旬～11 月末を予定しており、受講者には開講時に受講 ID を配信します。
- 主な動作環境は下記のとおりです。その他ご不明な点については別途お問い合わせください。

動作環境

2022 年 6 月現在

パソコン

Windows10	Microsoft Edge ver. 95.0.1020.40 Google Chrome ver. 95.0.4638.69
Windows11	Microsoft Edge ver. 95.0.1020.44 Google Chrome ver. 95.0.4638.69
Mac OS 12.0.1	Google Chrome ver. 96.0.4664.45 Safari ver. 15.1

スマートフォン

Android 10/11/12	Google Chrome ver. 95.0.4638.50
iOS 14.7	Safari ver. 14.1.2
iOS 15.1	Safari ver. 15.1

タブレット

Android 9	Google Chrome ver. 95.0.4638.74
iOS 14.7.1	Safari ver. 14.1.2
iOS 15.1	Safari ver. 15.1

【お問い合わせ先】 弘前大学保健学研究科 総務グループ TEL0172-39-5518 hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

2022年度 放射線看護 ベシツグ トレーニン

看護基礎教育において、放射線看護を担当する教員もしくは医療機関において放射線診療に関わる看護職の皆さまの放射線に関する知識・技術を充実させることを目的とした研修です。講義とともに放射線測定器等を使って自然放射線や移動型エックス線撮影装置からの放射線などの測定演習を行い、放射線基礎・防護方策の理解促進を図ります。

令和4年11月5日・土
13:00～17:20

Web開催

対象 看護職者・看護教育に関わる教育機関関係者
(先着100名)

受講料

無料 ※別途テキストの購入が必要です
『改訂版 看護と放射線』
(日本アイソトープ協会刊行/定価2,500円+税)

**申込
方法**

事前申し込み制

次の専用フォームからお申し込みください

●放射線看護ベシツグトレーニング申込フォーム●

<https://forms.office.com/r/CRaxmuZXXi>

【申込期間】

令和4年8月1日(月)～令和4年9月20日(火)

*詳細な研修プログラムはHPでご確認ください。

共催

弘前大学大学院保健学研究科 放射線看護教育支援センター
京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター/放射線部

**お問
い合
せ先**

弘前大学大学院保健学研究科 放射線看護教育支援センター(担当: 柏村)
TEL:0172-39-5518 FAX:0172-39-5912 E-mail:hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp
URL:<https://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/>

- ◆ 2022年2月に日本看護協会の専門看護師 専門看護分野に「放射線看護」が新たに認定されました。
- ◆ 本セミナーはINE更新単位取得(5単位)の認定対象セミナーです。



京都大学医学部附属病院
総合臨床教育・研修センター/放射線部



弘前大学大学院保健学研究科
放射線看護教育支援センター



学生募集

未来を守る。



本学では、社会人が学びやすいように、講義は平日の夜間と土曜日、集中講義で開講しています。また、多くの科目は、インターネットを活用した遠隔授業が可能で、来学しなくても自宅や職場からリアルタイムで講義を受講することができます。一部の講義ではeラーニングを取り入れており、ご自身の都合に応じて受講することも可能となっています。また、長期履修制度を活用することで、最大4年間の履修期間で学ぶことができます。



所定の単位を修得するとともに、学位論文の審査及び最終試験に合格することにより、「修士(看護学)」の学位を取得できます。なお、本コース修了者には「放射線看護高度実践看護師(Radiological Nursing Specialist)」の学内称号を付与します。

文部科学省の「職業実践力育成プログラム(BP)」に認定されました(2017年)
日本看護系大学協議会からCNSの放射線看護専攻教育課程の認定を受けました(2017年)

日本看護協会の専門看護分野に「放射線看護」が特定されました(2022年)

入試日程は6月以降HP等で公表する予定です。

●弘前大学大学院保健学研究科HP

<http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/kouhou/hg/web/daigakuin/>

●お問い合わせ先

野戸 結花 / ☎ 0172-39-5923 ✉ noto@hirosaki-u.ac.jp

漆坂 真弓 / ☎ 0172-39-5974 ✉ urushima@hirosaki-u.ac.jp



放射線看護高度看護実践コース

弘前大学大学院保健学研究科では、2015年度から『放射線看護高度看護実践コース』を開設しております。本コースでは、「被ばく医療における看護支援」及び、「医用放射線利用に伴う看護支援」の2つの領域のうち、いずれかを選択して学習して頂きます。

放射線看護の対象



教育目的

放射線被ばくや放射線防護に関する高度な専門知識・技術を基盤とし、施設や地域における個人や集団の放射線被ばく防護対策に従事すると共に、放射線被ばくに関連した複雑な健康問題を持つ個人、家族および集団に対して高度看護実践を行うことのできる人材の育成を目指します。

教育目標

1. 放射線被ばくや放射線防護に関する高度な専門知識・技術を活用し、顕在あるいは潜在した放射線の人体影響を有する対象への高度看護実践を行うことができる。
2. 放射線被ばくを最小限にするための的確な臨床判断と管理を行うことができる。
3. 個人や集団が放射線に関する正しい知識を有し、自らの健康を守るための判断と行動ができるように教育・啓発活動及び相談活動ができる。
4. 看護職者に対して、放射線看護に必要な知識及び技術に関する教育・相談活動ができる。
5. 放射線看護に必要な教育・医療システムの調整を行うことができる。
6. 放射線看護に関する倫理的課題に対し的確な判断を行い、解決に向けて支援を行うことができる。
7. 放射線看護に関する専門的知識や技術の向上に資する看護研究を行うことができる。

〈放射線看護高度看護実践コース〉カリキュラム

放射線看護高度看護実践者

専門科目 必修科目10科目24単位を含む28単位以上

10単位 放射線看護学実習

4単位 放射線看護学課題研究

14単位

基礎放射線学特論、被ばく医療学特論、放射線医学特論、放射線看護学特論、放射線看護学特別演習、被ばく医療看護論、被ばく医療看護方法論、医用放射線看護方法論

共通科目 必修科目6科目12単位を含む14単位以上

看護教育学特論、看護管理学特論、看護理論、看護研究方法論、コンサルテーション論、看護倫理学特論、看護政策論、フィジカルアセスメント、病態生理学、臨床薬理学

